

## 行政調査報告書「総務企画常任委員会」

平成 23 年 7 月 26 日（火）～28 日（木）

### ■佐賀県佐賀市「NAS 電池（大容量蓄電池）について」

佐賀市では、非常電源用ディーゼル発電機が老朽化のため信頼性に不安があった。そこで、更新期に電力負担平準化と非常用電源の兼用のため、全国の自治体で初めて庁舎建物への導入を行った。

NAS 電池の導入により、夜間電力により充電し、日中に放電することにより、電力料金を年間約 400 万円削減できたが、使用電力量としては、NAS 電池の効率性から約 30% 増えてしまっている。夜間電力料金が高くなると、メリットが少なくなってしまう危険性があり、ディーゼル発電機を導入する場合と比較すれば検討に値するが、NAS 電池をただ導入するだけでは、コスト面でのメリットはないと考える。



### ■佐賀県武雄市「自治体クラウド(システム共同利用)、Twitter 利用、iPad での図書貸出について」

自治体クラウドについては、佐賀県より実証事業への参加要請があり引き受けたが、以前から 3 市 3 町でシステムの共同化を進めており、自治体クラウド開発実証実験ではメリットを享受できなかったようである。安城市も近隣市との共同化を模索した方が得策と感じた。

Twitter 利用については、平成 22 年 9 月から、職員のほとんどを占める 390 名の職員がツイッターのアカウントを取得して運用を開始している。市役所の職員ほぼ全員が活用しているのは他に例がない。不適切なつぶやきや誤った情報を流した例はまだなく、やる気のある職員が自ら活用することはよいことだと感じた。

また、iPad での図書貸出については、著作権の壁があり、思うように蔵書数が伸びていないという事だが、スマートフォンでの展開も考えられており、発展が期待できる。今後の動向を注視し、良いタイミングで電子図書館システムの導入を図れば、市民に人気の高いサービスとなるであろう。

### ■岡山県倉敷市「ファシリティマネジメントの導入推進について」

ファシリティマネジメント (FM) とは、企業・団体などが組織活動の為に施設とその環境を総合的に企画・管理・活用する経営活動であり、保有資産の縮小化を図ることである。倉敷市では、平成 19 年に明から FM マネージャーの資格取得者を採用し、長期修繕計画室を新設し、3 年間で 750 棟の建物を点検し、適正な施設管理に努めていこうとしている。



安城市でも、同じ指標で建築物のデータ収集を早期に進め、公共建設物については、市民ニーズや公共性を鑑み、統廃合、機能移管など、修繕だけではなく、トータル的な視点で検討する必要がある。